



モザイクコミック総集編

魔法少女  
ノーブル・ローズ  
最強魔物! と共生セックス

この街は突如  
現れた謎の組織  
エビルズアークに  
支配されています

人々はバイオ兵に  
立ち向かいましたが  
銃火器は  
役に立ちませんでした

エビルズアークは街に  
バイオ兵を放ち  
若い女性を襲わっています

バイオ兵は力が強く  
俊敏で、一度狙われたら  
最後、逃れることは  
できません

女性はバイオ兵と  
遭遇しないことを  
祈りながら生活するしか  
ないので

キーン

失礼します  
舞華さん  
起きていたのですね



私は舞華お嬢さまのお父上に雇われている身分ですから

彩音

敬語は使わないでって言ったでしょ？

彩音……

舞華

昨日の帰り道私達はバイオ兵に襲われました

……ふふっ  
冗談よ  
つい昔の癖で、ね  
許して、舞華



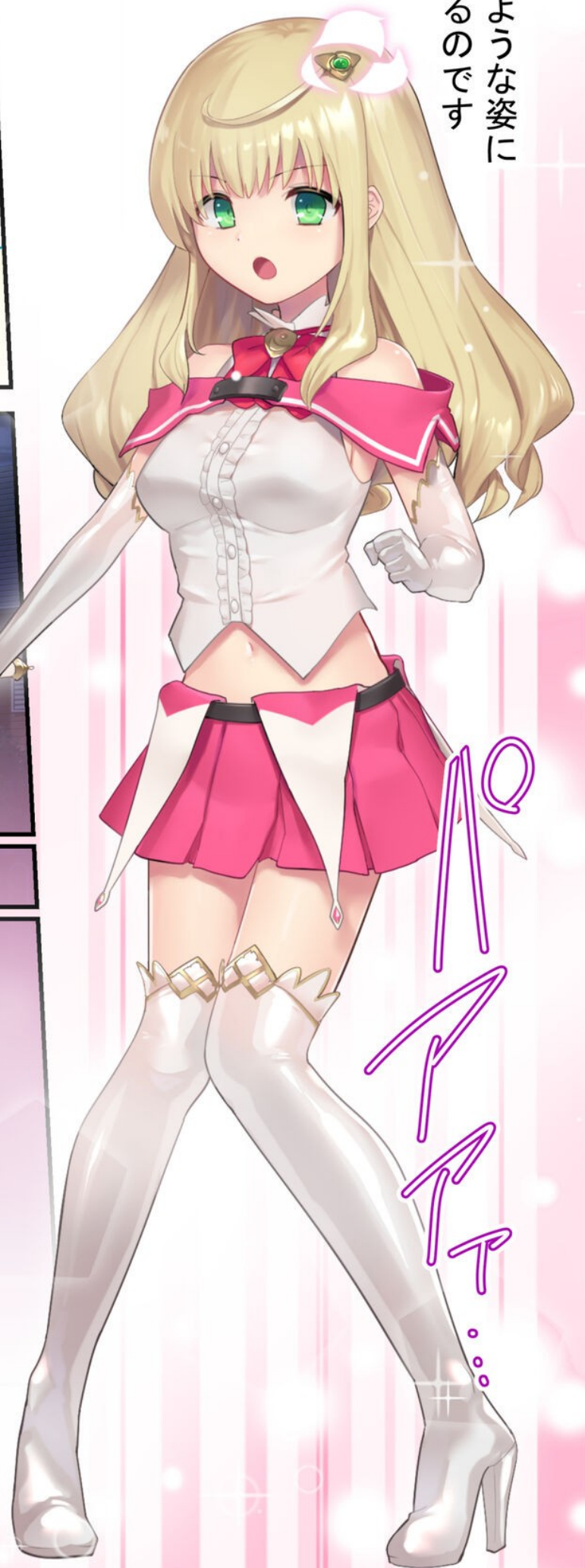
私が掴んだものそれは魔法のステッキでした

このステッキを手にして、変身したいと念じるだけで……

彩音が私を庇ってバイオ兵に突き飛ばされた時  
不思議なことが起こったのです

舞華

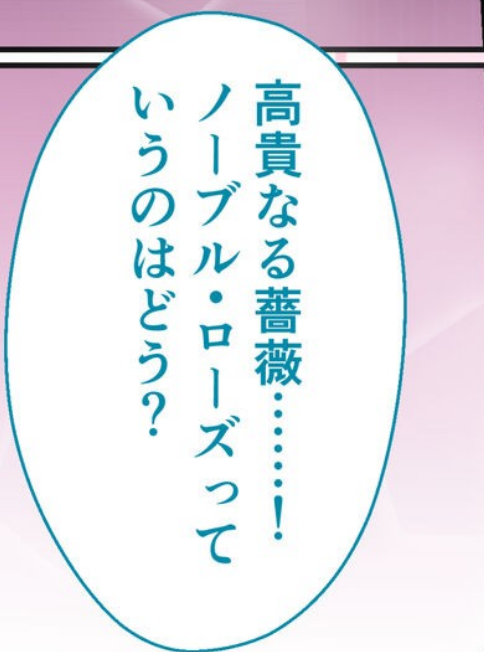
このような姿に  
変わるのです



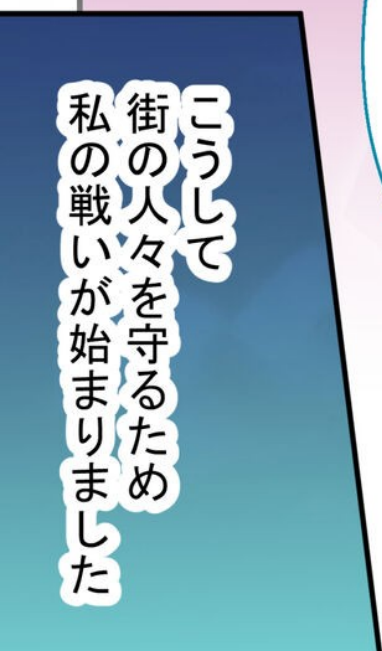
魔法少女は  
正体がバレちゃ  
いけないの！  
何か別の呼び方を  
考えないと！



……  
えーつと  
そうねえ……



高貴なる薔薇……！！  
ノーブル・ローズって  
いうのはどう？



こうして  
街の人々を守るため  
私の戦いが始まりました

Q  
A  
A  
A  
……

ですがこの時、私は  
理解していなかったのです

私を待ち受けている  
あまりにも過酷な運命の  
ことを……



ふふふ  
私はルカランダ  
アーク・デュラン様の  
配下の1人よ



純真な子に、敗北と  
屈辱と恥辱の味を  
覚え込ませることが  
できると思うと……

……ゾクゾク  
するわ

My♡




な、なにを  
言ってる……!!


ねえ  
なぜ私達が女どもを  
犯●ているのか  
分かる？

……それはね  
魔力を  
集めるためなのよ






私達の  
ような魔族は  
魔力がないと  
生きていけないの




この世界で  
唯一魔力のある場所……  
それが、女の体内よ  
個人差はあるけどね



その魔力が体外に  
放出される瞬間がある  
それが——絶頂した時



魔族……？  
人間ではないの  
ですか……？



ぜっ、ちよう……  
ですって？



それを絶頂させて  
その時に放出される  
魔力をバイオ兵が  
吸収するの

そして——  
魔法少女の力の源も  
もちろん魔力なわけ

それって……！

あなたも  
魔法少女なら  
あなたには莫大な  
量の魔力があるはず

つまり、あなたは  
最上級の獲物って  
ことになるわけ

っ……!?

魔法少女!  
あなたを犯●て  
魔力を奪わせて  
もらおうよ!

バイオ兵達……  
ぐちゃぐちゃにして  
しまいなさい!

ガッ

きゃああ……ッ!?

んあああつ……  
やめてくださ、っ  
ひいいいっ!



オグジュッ

私は  
バイオ兵達に囲まれた  
犯●れ続けていました

絶頂のたびに  
私の魔力がバイオ兵に  
吸い取られていくのです

これ以上、魔力を  
吸われるわけには…  
いきませんっ…  
んあああああっ…!!

オグジュッ

オグジュッ

ちゅっ  
ちゅっ



バイオ兵の男性器が  
私のナカでも  
敏感な部分を  
的確に突き始めました



じゅっ  
じゅっ

あ…  
そこ、ダメ…!!  
そこ弱い  
っひんっ!!



ダメ…本当に  
ダメですう…  
もう、イきたく  
ないのにつ…っ!!

私の弱いところなんて  
バイオ兵にはとつくに  
筒抜けになっているのです

♡♡♡♡♡

イくううううっ!!

あ…ダメっ…  
イク…イっちやう…!  
ダメなのに…  
イカされちやう…!

イっちや、ダメです…  
ダメ、なのに…っ  
耐え、られなひっ…



バイオ兵の男性器が  
突き刺さっている  
ナカから

何かが  
吸い取られていく  
ような、そんな  
感覚があります

ちゅぽん

ちゅぽん  
ズグッ

それがすなわち、魔力を  
奪われるということ  
なのでしよう

ちゅぽん

ズグッ

あ…ああ、つ  
んいいいいいっ!!

私が絶頂したことは  
魔力を奪って  
分かっている  
はずなのに……

バイオ兵は  
その腰の動きを  
止めようとは  
しません

ズグッ

ズグッ

ちゅぽん

ちゅぽん



や、もう、ダメですう…  
イってすぐにそんな  
突いちゃ…っ…!!

あ…  
ダメ…そんな…  
またイ、イきます…

んあ…  
あ、あああ…!!

ぶいっ  
ぶいっ  
ぶいっ

ブ  
ブ  
ブ



はああ…っ  
また、魔力  
吸われています…

私、変身が  
解けて…ううう…

あ、ああ…っ!!

ハ  
ハ  
ハ

ブ  
ブ  
ブ

ハ  
ハ  
ハ

私の体を光が包み  
光の中から制服が  
現れました

キュム

魔力をすべて失い  
変身が解けて  
しまったのです

うあああああつ…  
どうしてっ!?

ぐわほ

ズッ  
ぐわほ

ぶほ  
ほ  
ムム

ぶほ  
ほ

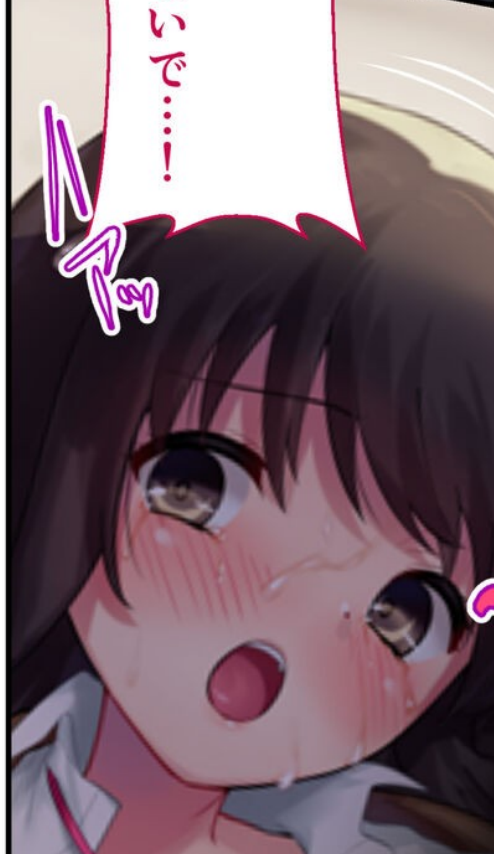
ぶほ  
ほ  
ほ

もう  
魔力は  
ありませんっ…!

オオ…

もうやめて  
ください…  
もう、犯●ないで…!

アア



私の言葉が通じて  
いないのか、  
それとも最初から  
聞く気がないのか

いくら叫んでも  
バイオ兵は  
気にも留めていません

んあっ、もう  
限界なのに…  
私の身体…っ  
あううう…

いきますっ…!!  
また  
いきますうううっ!!

きゃうっ♡  
きゃうっ♡

私、バイオ兵に  
犯●れてしまいました…  
初めて、だったのに…

ううっ…  
ううあぁあぁあつ…

けど  
この街を守るため  
私が戦わなければ…

しかし●辱は  
これだけでは  
終わりませんでした

決心の甲斐なく、  
次の戦闘でも魔力を失い  
再び敗北した私は…

ステッキを取り上げられ、  
壁も床も天井も  
触手で埋め尽くされた  
部屋に放り込まれました

あ…

ア…



媚薬効果のある粘液が私の皮膚や敏感な部分に染み込み

時間が経過するにつれいやらしい気分が増していました

ドキュウ

ゾゾ

はあっ、んくっ…  
んんんんっ!!

アゲアゲ  
ちゅぽ

ちゅぽ

アゲアゲ  
びゅん



身体、弄られれば弄られるほど、敏感になっちゃいます…!!

ダメええ…  
これ我慢  
できませんっ…!!

アゲアゲ  
ちゅぽ

一度は  
すべての魔力を  
失った私ですが…

時間の経過とともに  
少しずつ体内で魔力を  
回復させていました

しかし、この触手達は  
回復したそばから  
その魔力を  
奪っていくのです

んあああつ…  
そんな  
激しく突いては  
ダメですう…!!

…んあつ…  
イ、イくう…  
私また、触手で  
イきますっ…

イくうううつ!!

ゴゴゴ

アゲツ

ハア…  
ハア…

アゲツ

ゴゴゴ  
ウツツ

びびび

う、あ、ああ…  
また、イっちゃったよお…  
うう、もう、イきたく  
なんてないのに…!!

ああ、また  
魔力吸われ  
てる…

グロ  
グロ

もうやだあ…  
これ、いつまで  
続くの…?

グロ  
グロ

グロ

や…くるっ…  
またイくっ  
イくっ…

ひあああああっ!!

グロ

グロ  
グロ

グロ  
グロ

次の戦闘でもー

待っていたぞ  
魔法少女

私はグリーヴァ  
アーク・デュラン様  
配下の1人だ

お前の魔力を  
いただくと  
しようか

キュルッ  
キュルッ  
キュルッ

きゃあああっ!?



グッ  
グッ  
グッ

ギョ  
ギョ  
ギョ

キュル  
キュル  
キュル

ヌズ  
ヌズ  
ヌズ

ギョ  
ギョ  
ギョ

グリーヴァに敗北した私は  
洞窟の奥に捕えられました

う…んっ、く…  
もう、やめてえ…  
ああ、あああ…

魔力をすべて失い変身が解けた  
私をグリーヴァは犯●続けています

あ、もう、私のあそこ  
じゅぽじゅぽしないで  
ください…

胸も  
弄らないでえっ…

硬質化したスライムの触手が  
私の乳房に巻き付き  
くいくいと絞めつけます

また、私の股間…  
奥深くまで、1本の  
触手が入り込み、激しく  
中をかき混ぜていました

ああ…！ これ  
我慢できませんっ…  
気持ちよく  
なっちゃいます…！

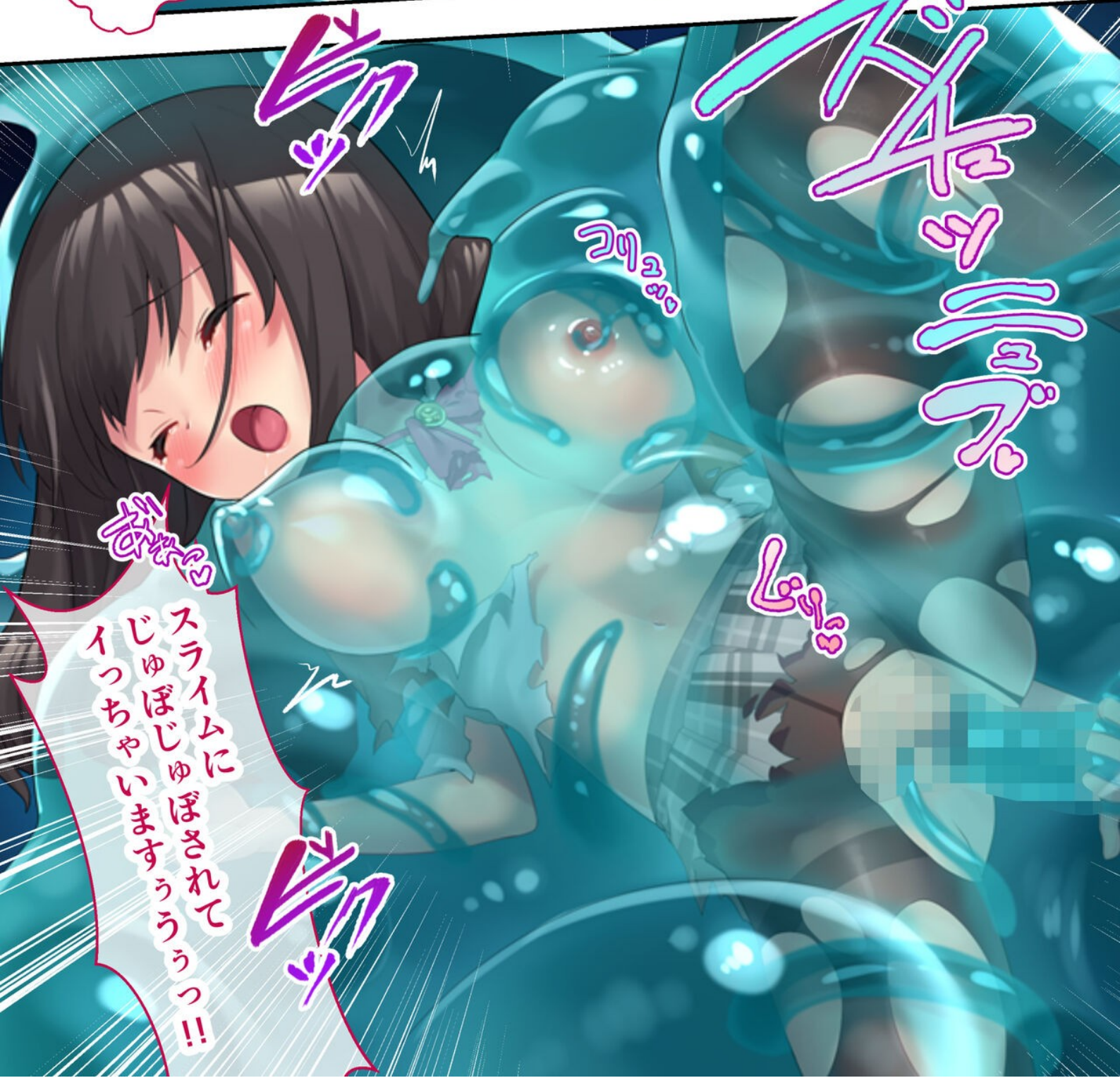
スライムの触手は  
こつこつと私の子●口を  
叩いていました

入る時と出る時  
それぞれ違う快感が  
走り抜け、私の  
身体は翻弄されます

ズグッ  
ニムン  
ニムン



ズグッ  
ニムン  
ニムン



おめっ  
スライムに  
じゅぼじゅぼされて  
いつちやいますうううっ!!

ズグッ  
ニムン

私が達しても  
スライムの責めは  
止まりません

ジュジュ

ダメ、つ、んっ  
ダメええ…  
イ、イ、く、う、う…

ジュジュ

もうやめて…  
んあつ、もう  
気持ちよく  
ならないでっ…

ジュジュ

ハッ

また、じゅぼじゅぼで  
気持ちいいの  
昇ってきてますっ…

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

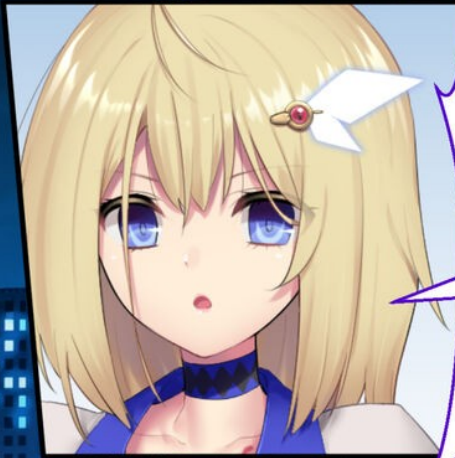
ジュジュ

気持ちいいの、来て…  
イ、つ、ち、や、い  
ます、う、う、う…!!

ジュジュ

ジュジュ

待っててください！  
私も一緒に  
戦います！  
私は  
プリズム・シャーリー！  
同じ魔法少女です



魔法、少女…！  
私以外にも  
いたのですね…



なんて、ね…

ぐあっ…  
な、なにを…!?

ごめんなさい…  
私、あなたの  
味方ではないのです

なん、ですって…？  
でも、私と同じ  
魔法少女だと…

魔法少女だからと  
言うて  
人間の味方とは  
限りませんよ

くす…



魔法少女  
プリズム・シャリーは  
もういません

私は  
エビルズアークに  
忠誠を誓いました

ここにいるのは  
人間の敵  
エビルズ・シャリー  
です

ローズさん…  
私が、徹底的に  
いじめてあげますね…!!

きやあ……っ!!

触手の壁に絡みつかれ  
身動きが取れない私に  
エビルズ・シャリーが  
抱きついてきました

ギョッ!

ズ  
ン  
ッ

んちゅっ…  
ローズさんの乳首  
ピンと立って、ユリユリ  
していますよ…はむっ

や、めて…  
くださいっ…  
舐めないでっ…  
そこは、触っちゃ…

ちゅっ♡  
ぽっ♡

んいいいいいっ！  
指、中、入れちゃ  
あああっ…！！

ちゅぽっ♡  
ちゅっ♡  
ちゅっ♡

れう…ローズさん  
感じているん  
ですね？

いいんですよ  
もっと素直に  
快感を受け入れて  
ください…！！

ちゅっ♡  
ぽっ♡

どうして  
こんなことを  
するん  
ですかっ…？

あなただって  
魔法少女  
なんでしょ…？

っ♡

ちゅっ♡  
ぽっ♡

ローズさんは人間ののために戦っているんですよね…？

やめておいたほうがいいですよ…人間に味方しても…裏切られる、だけです…

んあああつ!!  
そんな強く  
しちや…あつ!!

あなたはまだ人間に裏切られてはいないんでしょう？  
うらやましいです

でも、いつか人間はあなたを裏切りますよ…その前に、私があなただを墜としてあげますね…

あ…ああ…つ!!  
これ以上されたら私、んんっ…

いやあああつ!!  
イくうううつ!!

う、あうう…  
やめて  
くださいっ…!!

ハァッ  
ハァッ

私  
イきましたっ…!!

もう私の中  
ぐじゅぐじゅするの  
やめて  
くださいいいっ!!

キョッ♡

我慢、しなくちゃ…  
いけないのにつ…  
女の子同士で  
こんなことっ…

はむ

ぢゅぽっ  
ぢゅぽっ  
ぢゅぽっ

ヂュ  
フ

女の子同士だから  
いいんでしょ…?  
ちゅむっ、れう…

男なんて、性欲を  
満たすことしか  
考えていない最低な  
生き物なんですよ…

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ

ほら…私の手で  
もっと  
気持ちよくなって  
くださいね…!!

あ、ああ…指が  
たくさん  
動き回って…  
んひひいっ!!

はあ、

れるっ♡  
いちゃ♡

我慢しないで  
ください…  
イって  
いいんですよ…?



トギッ♡  
らっ♡  
らっ♡  
らっ♡

チヨッ

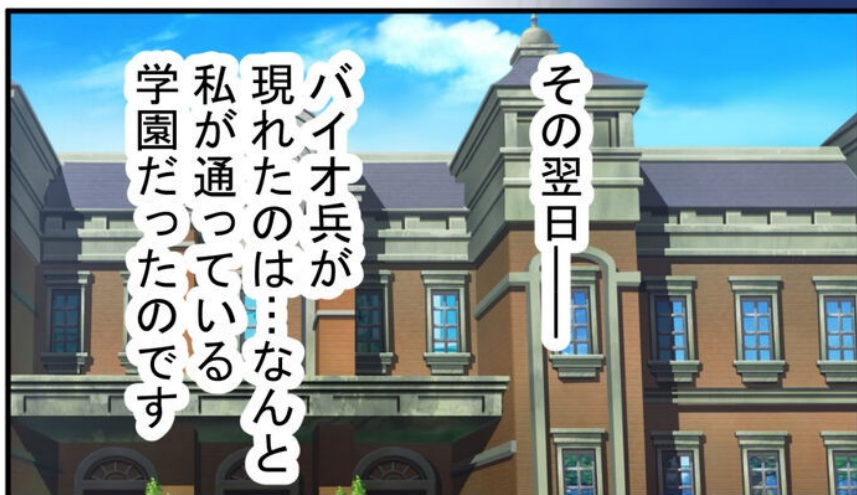
びっ♡  
ちゅっ♡  
くっ♡  
ん♡

あ——んあああつ…  
イ、イくううう…  
イツちやいますううつ!

んっ♡

んっ♡

私はたっぷり  
飛ばされた後……  
なんとか逃げ出す  
ことができました



その翌日――

バイオ兵が  
現れたのは……なんと  
私が通っている  
学園だったのです



私はレスター！  
ついさっき  
この学園全体に  
結界を張ったの！

これで誰も、  
この学園からは  
出られないよ！

そして……  
この結界の  
内部は3時間後に  
爆発するわ！

なんですって!?

アハハハ



そんな…  
俺達、3時間後に  
死ぬのかよ…！

ガッ  
落ちていてください！  
その結界は私が  
必ず解除します！

あはっ♪  
ローズちゃんに  
それができるかな？

今ここで  
あなたを倒せば  
結界は消える…！

確かに  
そのとおりよ！

私の意志でも  
結界を  
解除できるの！

だったら  
今すぐ結界を  
解いてくれよ！  
死ぬなんて嫌だ！

それじゃあ  
私の頼みを聞いて  
くれたら結界を  
解除してあげる！

頼み……？

簡単なことよ！  
そこにいる魔法少女を  
私に差し出すの

めちやくちやに犯●て  
変身が解除されるくらい  
魔力を奪ってから……ね？

なんですって……？

犯●……？  
そんなこと  
していいのか……？

やらなきや  
死んじゃうんだもの  
仕方がないよ、ね

魔法少女の変身を  
解除させたら  
呼んでね！  
それじゃあ！

まっ  
待ちなさいっ！

どうする...?  
俺は、俺は...

俺は、魔法少女を  
犯●て、あいつに  
差し出す!

うそっ...!?  
やめ——ッ

きゃっ  
きゃあぁあっ!?

まさか  
さおとめ  
早乙女と本当にやれる  
日が来るなんてな

私は男子達に  
魔力がすべて  
なくなるまで  
犯●れました

変身が解除された  
私を男子達は  
さらに犯●続けます

ちゅぽっ  
ちゅぽっ

ちゅぽっ  
ちゅぽっ

いやああああ…  
こんなひどいこと  
もうやめて  
くださいっ…

胸、そんな  
乱暴に触っちゃあ  
ダメ、ですっ…!!

おお、早乙女  
イキそうだぞ

へへへ  
早くイキ顔  
見せてくれよ

俺も  
イキそうだ!  
出す、ぞおお!

ダメえええっ!!  
もう中に出すのは  
ダメですううっ!!

抜いてくださいっ…  
お願いです  
抜いてえええっ!!

ブッ  
ブッ

ブッ  
ブッ

じゅわ  
じゅわ

ブッ  
ブッ

ブッ  
ブッ

出るぞおおおっ！

ビビビビ

ズンズン

ズンズン

あああああっ！！  
出て、ますう…！！

ズンズン…

精●がっ  
ナカに出ちやっつて  
ますうううっ！！

ズンズン

ズンズン

これ、ダメ、んあ…  
私、イ、く…イ、く…！！  
いつくううううっ！！

ズンズン

ズンズン

ズンズン



——待ちなさい！  
レスター！

なんとか男子たちを  
振りはらった私は  
この騒動の原因である  
レスターを追いかけてました

ふふふ…!!  
魔法少女は  
そうでなくっちゃ!

アッ!

シャーリーちゃんも  
私達と戦ったんだけど  
負けちゃったの!  
そして人間に  
絶望させて  
仲間にしたの!

絶望  
させた…?!

…クラスの  
男子全員に  
輪●させたのよ

この学園はね  
シャーリーちゃんの  
通っていた学園なの

!!

それじゃあ  
ローズちゃん！  
お楽しみの  
時間だね！

レスターの触手が私の  
コスチュームの下に入り  
裏側に浸食していきます

ひい……ッ!!?  
な、なん、ですかっ  
これ……? 服の中に  
触手がっ……

これ  
やめてくだ、っ  
ぷううううう!!

レスターの触手が  
口の中に飛び込み  
触手の粘液が  
直接流し込まれました

どう  
ローズちゃん?  
気持ちよく  
なってきた?

んぐんう……っ  
気持ちよく  
なんかっ……!





ローズちゃん、  
またいった！  
私の触手、そんなに  
気持ちいいの？

どんどん激しく  
するから、何回でも  
イってね！

もう、やめて…

これ以上  
イかされたら  
私、壊れて  
しまいます…

ちゅぐうっ！！  
むううううっ！！

ラストアの責め苦で  
気を失った私……  
しかし●辱は  
終わりませんでした

や、やめてください……  
こんな、ことっ  
ああああ……!

拘束された私を  
数十人の男が取り囲んで  
いました

ひぐっ、んっ……  
どうしてあなたたちは  
敵の言うことを  
聞くんですか……っ!

無駄よ  
この男達は  
私の言うことに  
逆らわないの

人間にはね  
進んで悪に味方を  
したい人もいるのよ

ダメ、ですっ……  
エビルズ・アークに  
味方をしては、ダメ!

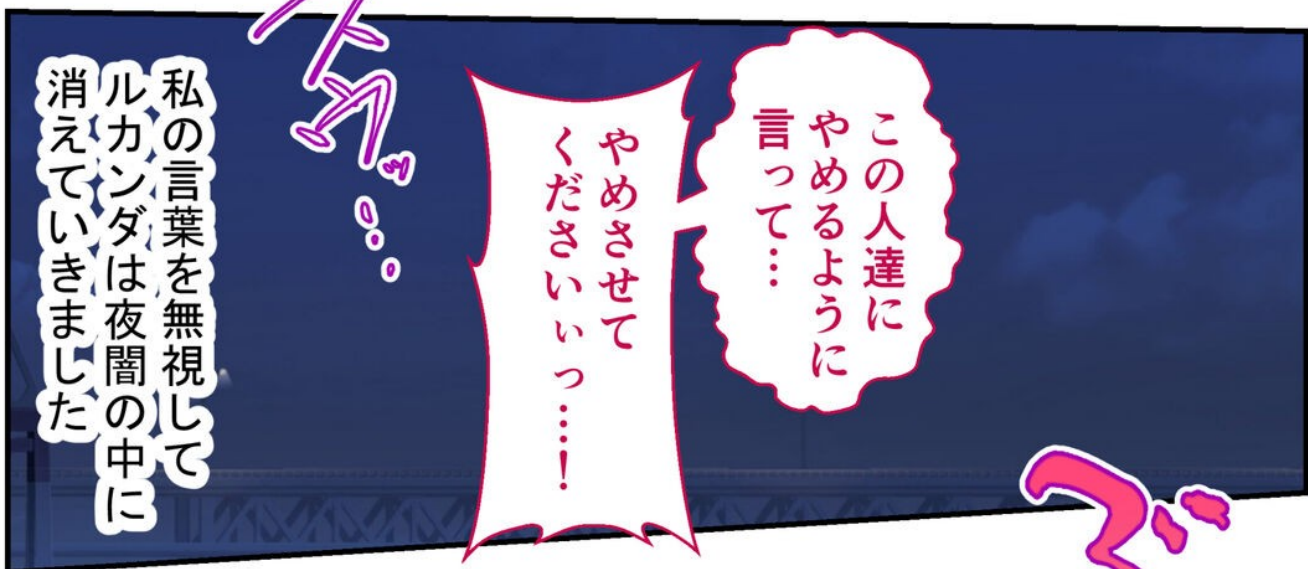
俺たちは自分が  
楽しければ  
いいんだよ



それじゃあ  
私は行くから

ちやあんと  
ローズちゃんを  
満足させて  
あげるのよ？

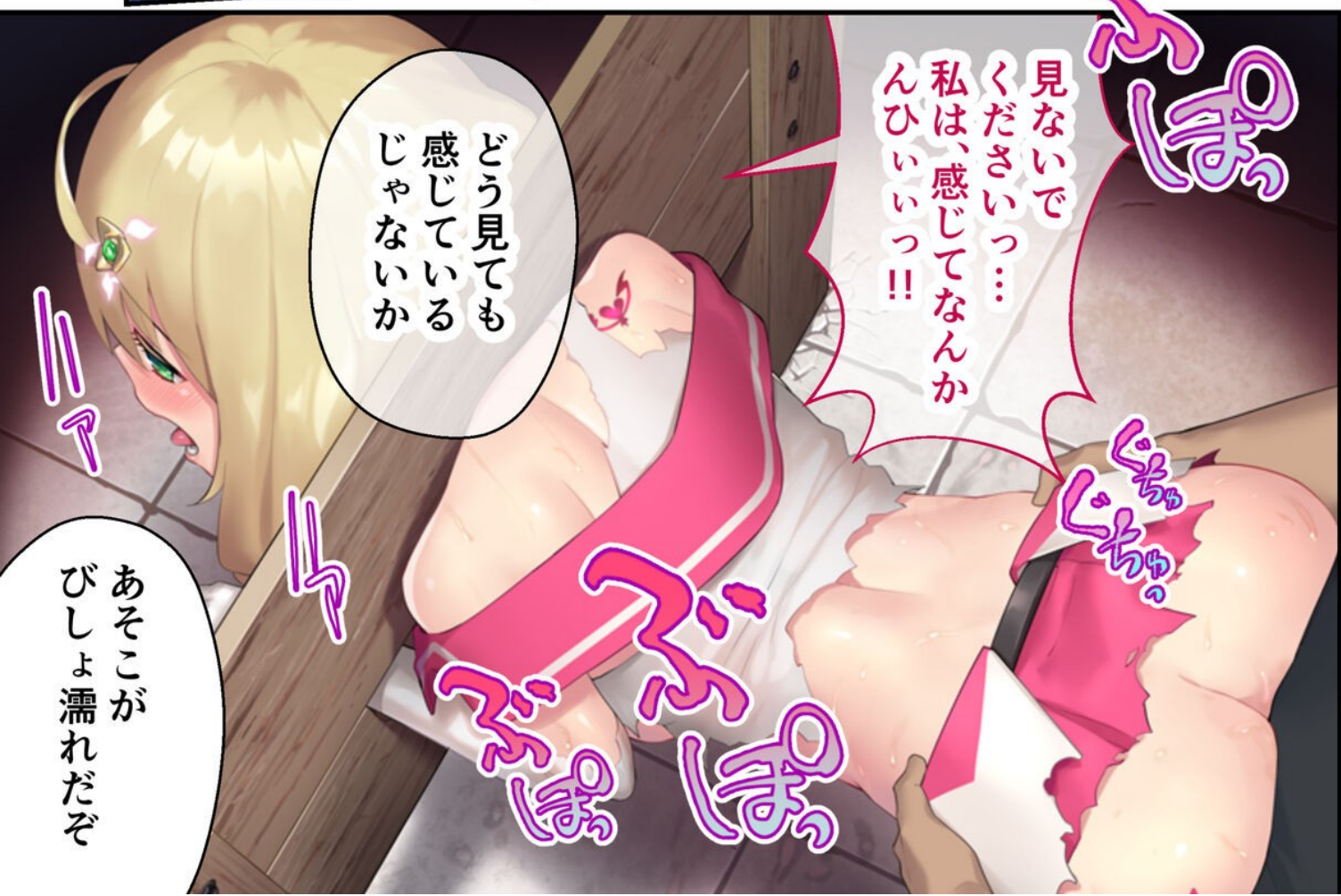
…!! 待って  
くださいっ…!!



この人達に  
やめるように  
言っ…

やめさせて  
くださいっ…!!

私の言葉を無視して  
ルカンドは夜闇の中に  
消えていきました



見ないで  
くださいっ…  
私は、感じてなんか  
んひいいっ!!

どう見ても  
感じている  
じゃないか

ぶほほ  
ぶほほ

あそこが  
びしょ濡れだぞ

違いま、すっ…  
これは…ああ…  
ルカランダに付けられた  
紋様のせい、っ

なんですっ…  
んああああっ!!

四魔将に敗北した後  
私の身体に、ルカランダに  
よって紋様が描かれました

キエウウ..

じゅわん

クチュウ  
クチュウ

身体的感度を上げ  
強制的に発情させる効果の  
ある紋様が刻まれたのです

いやああっ!!  
イ、イっっちゃう…  
私、犯●れて…  
イクううううっ!!

クチュウ  
クチュウ

もう1つの紋様の効果により、放出される魔力が遠方にいるルカランダに送られる仕組みです

う、あああ……  
いったばかりなのに  
突いちゃ  
ダメですううっ!!

こんなもの……!!  
気持ちよくなんか  
なりたく  
ないのにつ……っ!

ズンッ

ズンッ



どうして私  
感じちゃうん  
ですかあっ!



ズンッ

もう  
我慢できない  
ぶちまけてやる!

ズンッ

ビュッ  
ビュッ

ぶぎゅううううっ!!

ぽろ...

あれ、ここ……  
もしかして……  
エビルズアークの  
基地……？

これって……  
アーク・デュランを倒す  
機会なのでは——

また  
会いましたね

ぐっ

ここを  
通してください！  
私はあなたと  
戦いたくありません！

あなたは  
戦いたくなくても  
私はあなたを  
通す気はありません

あなたが、その……  
男子にひどい目に  
遭わされたのは  
知っています……

でもこのままでは  
被害に遭う女性が  
増えていくんです！

…それが  
どうしたのよ  
誰も私の味方を  
してくれなかった

~~こんな世界  
滅んでしまえば  
いいんです!~~

確かに  
この世界には  
ひどいことを  
する人もいます…

それでも私は  
この世界を  
守りたい

そして私は…  
あなたも  
救ってみせます!



結局私は  
シャーリーを説得  
することができず  
先へと進んだ――

あなたが  
アーク・デュラン  
ですね？

女の人を襲うのは  
もう  
やめてください！

魔力が  
なければ我は  
生きてゆけぬ

魔法少女よ  
お前の望みはつまり  
我に「死ね」と  
言っているのと同義だ

戦つて、決着を  
つけるでしょう

しかし……  
私はアーク・デュランに  
敗北し、触手の群れに  
捕えられました

んあああつ!!  
これ太い、ですう……!!  
抜いて  
くださいいいっ!!

ズッ  
グッ  
グッ  
グッ

ヤマ...

グッ  
グッ

グッ

ズッ...

すぐに慣れる

ひっ、いいっ！  
太いのが  
いったりきたり…

いぼいぼが  
お腹の中  
ごりごりって…！

わらひっ  
おかしくなっちゃい  
ますっ…！

粘液をナカに塗り込まれ  
私は強制的に  
発情させられていました

胸  
吸い上げられて…  
お腹の中  
いっぱいで…  
ダメっ！  
くりゅっ！！  
きちやいますっ！！





あざいいいいっ!!  
そんな、っ  
また、すぐイって…  
しまいますすううっ!!

いやっ…  
私、イってるのに…  
また、また…  
イっちゃいます…



いつ、やあああっ!!  
これ以上私を  
犯●ないでええっ!!



そこまでです!

ローズさん!  
私の魔力を渡します!  
一緒に  
アーク・デュランを…!

シャーリー  
さん……!!

は  
はいッ…!

ふふふ  
ふはははは……!!  
我が敗れるか……  
無念だな……

見事だ  
魔法少女……  
お前の  
勝ち……だ……!!

邪悪な気配が  
消えました……

これでようやく  
終わったのですね……



大人の禁SEXY絵本

The title is rendered in a vibrant, stylized font. '大人の' is in yellow, '禁' is in a purple circle, 'SEXY' is in purple, and '絵本' is in pink. The background features a pink swoosh, a white book icon, and several hearts and stars.

©NoFuture